

2026年3月期 第1四半期
決算説明資料

2025年8月12日

株式会社ワコールホールディングス

証券コード：3591

皆さま、こんにちは。株式会社ワコールホールディングス 代表取締役 副社長執行役員の宮城晃です。
それでは、2026年3月期第1四半期決算について、資料に沿ってご報告します。

目次

1. 2026年3月期 第1四半期 決算概況	・・・ P.3
2. 2026年3月期 第1四半期 決算概況（セグメント別）	・・・ P.11
・ワコール事業（国内）	・・・ P.12
・ワコール事業（海外）	・・・ P.14
・ピーチ・ジョン事業	・・・ P.16
3. 財務・株主還元	・・・ P.17
4. Appendix	・・・ P.20

2ページです。本日のアジェンダです。

26年3月期第1四半期決算の概況、セグメント別概況、財務・株主還元についてご説明します。

2026年3月期 第1四半期 決算概況

はじめに、26年3月期第1四半期決算について概況をご説明します。

26/3期 1Q エグゼクティブサマリー

<p>売上収益</p> <p>450億円</p>	<p>前年同期差 (前年同期比)</p> <p>-15億円 (-3.2%)</p>	<p>前期の不採算事業の売却の影響により減収 閉店影響、消費マインドの冷え込みなどを背景に、主要国における レディースインナーウェア販売が伸び悩み、計画に対しても下回る</p>
<p>売上総利益</p> <p>262億円</p>	<p>前年同期差 (前年同期比)</p> <p>-0億円 (-0.2%)</p>	<p>不採算事業の売却やBravissimo社買収に伴う利益構造の変化等で 売上総利益率が改善し、減収するも前年同期並みを確保</p>
<p>事業利益</p> <p>24億円</p>	<p>前年同期差 (前年同期比)</p> <p>+8億円 (+51.1%)</p>	<p>国内におけるフレックス定年制度の廃止や 米国・中国の人員配置の適正化などによる販管費削減効果により増益</p>
<p>営業利益</p> <p>198億円</p>	<p>前年同期差 (前年同期比)</p> <p>+166億円 (+516.2%)</p>	<p>固定資産売却益（新京都ビル等）が寄与し大幅な増益</p>

4ページです。

26年3月期第1四半期決算のエグゼクティブサマリーです。

上段の売上収益は450億円でした。前期から当期にかけて事業ポートフォリオを見直し、不採算事業を売却したことなどにより、前年同期を15億円下回りました。また、国内外での得意先の閉店影響や、関税措置を受けての消費マインドの冷え込みなど、厳しい外部環境が継続しており、計画についても下回りました。

2段目の売上総利益をご覧ください。売上収益については前年同期を下回ったものの、不採算事業の売却や前期に実施したブラビッシモグループの買収による利益構造の変化に伴い、連結ベースの粗利率が改善し、売上総利益については262億円と、前年同期並みの着地となりました。

3段目の事業利益をご覧ください。事業利益は24億円でした。フレックス定年制度の廃止に伴う人件費の戻し入れ、米国・中国の人員配置の適正化による人件費削減などが影響し、事業利益については前年同期を8億円上回りました。

下段、営業利益は事業利益が前年同期を上回ったことに加え、新京都ビルをはじめとする不動産の売却益が寄与し、前年同期を大幅に上回り、198億円となりました。

26/3期 1Q 実績

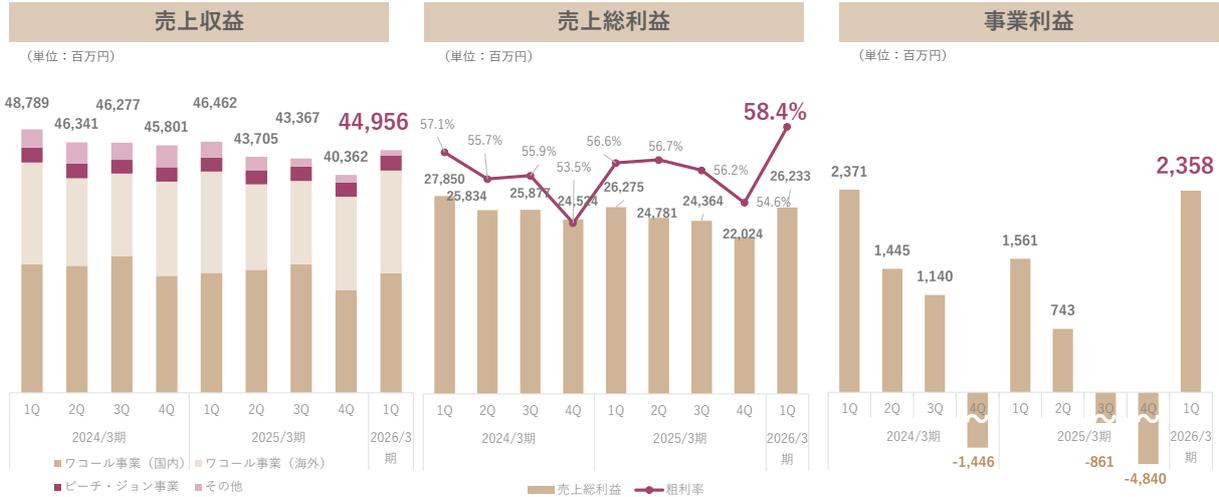
(単位：百万円)

	25/3期 第1四半期実績		26/3期 第1四半期実績		前年同期差	
	実績	構成比・比率	実績	構成比・比率	増減額	増減率
売上収益	46,462	—	44,956	—	-1,506	-3.2%
ワコール事業（国内）	22,237	47.9%	22,161	49.2%	-76	-0.3%
ワコール事業（海外）	18,742	40.3%	18,996	42.3%	254	+1.4%
ビーチ・ジョン事業	2,565	5.5%	2,783	6.2%	218	+8.5%
その他	2,918	6.3%	1,016	2.3%	-1,902	-65.2%
売上総利益	26,275	56.6%	26,233	58.4%	-42	-0.2%
販管費	24,714	53.2%	23,875	53.1%	-839	-3.4%
事業利益	1,561	3.4%	2,358	5.2%	797	+51.1%
ワコール事業（国内）	-434	—	381	0.8%	815	—
ワコール事業（海外）	2,018	4.3%	1,914	4.3%	-104	-5.2%
ビーチ・ジョン事業	13	0.0%	11	0.0%	-2	-15.4%
その他	-36	—	52	0.1%	88	—
営業利益	3,206	6.9%	19,756	43.9%	16,550	+516.2%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	3,038	6.5%	13,663	30.4%	10,625	+349.7%

5ページです。こちらは業績のまとめとなりますので、割愛します。

26/3期 1Q 売上収益・売上総利益・事業利益の四半期推移

売上収益は苦戦するも、不採算事業の売却等により売上総利益率が改善。事業利益は+51%の伸長



6ページです。売上収益、売上総利益、事業利益の四半期ごとの推移です。

売上収益は減少しましたが、売上総利益は粗利率の改善により前年並みに着地し、事業利益についても伸長しました。

26/3期 1Q 利益影響項目

(単位：百万円)

	25/3期 1Q実績	26/3期 1Q実績	前年同期差		増減理由
			増減額	増減率	
事業利益	1,561	2,358	797	+51.1%	
その他収益	1,733	17,452	15,719	+907.0%	新京都ビル、社宅・寮などの固定資産売却益合計168億円
その他費用	88	54	-34	-38.6%	固定資産除売却損の減少
営業利益	3,206	19,756	16,550	+516.2%	
金融収益	800	680	-120	-15.0%	受取配当金、投資有価証券評価益の減少
金融費用	94	253	159	+169.1%	支払利息、為替差損の増加
持分法による投資損益	356	-97	-453	—	タイワコール、台湾ワコールなどの業績不振
税引前四半期利益	4,268	20,086	15,818	+370.6%	
法人所得税費用	1,251	6,437	5,186	+414.5%	税引前四半期利益の増加
四半期利益	3,017	13,649	10,632	+352.4%	
非支配持分損益	-21	-14	7	—	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	3,038	13,663	10,625	+349.7%	

7

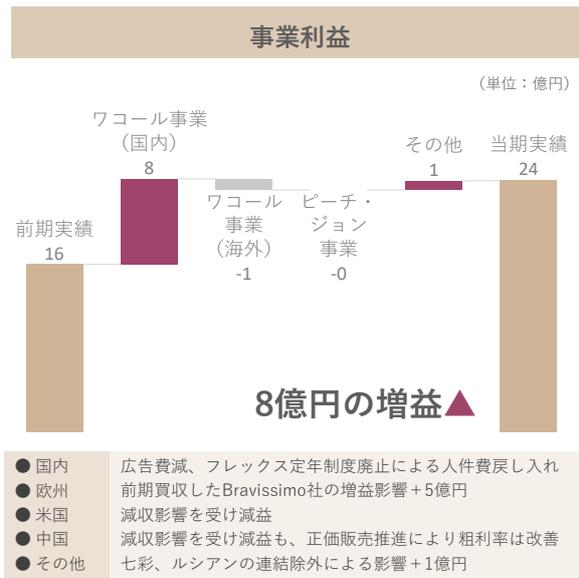
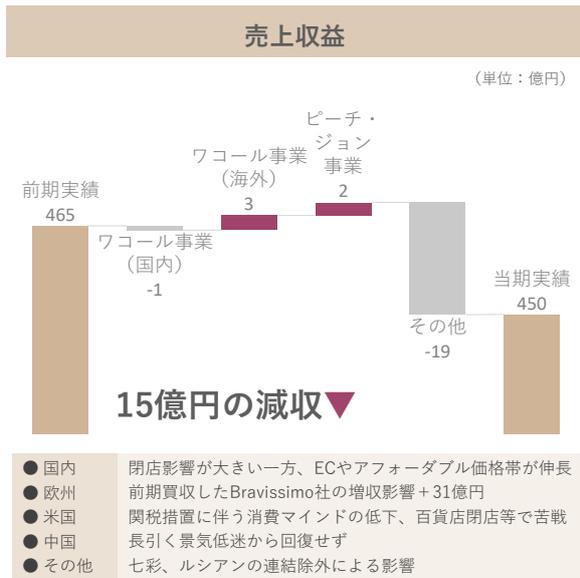
7ページです。こちらは、事業利益から親会社の所有者に帰属する四半期利益です。

事業利益の下段に、その他収益として合計174億円を計上しておりますが、大半は新京都ビルの固定資産売却益です。

営業利益に、金融収益、金融費用、持分法投資損益などを加え、税前利益は201億円、

税金費用を差し引いた結果、四半期利益は136億円でした。なお、固定資産の売却益によって税前利益が大きく増加した結果、税金費用についても大幅に増加しました。

26/3期 1Q 売上収益・事業利益の前年同期差



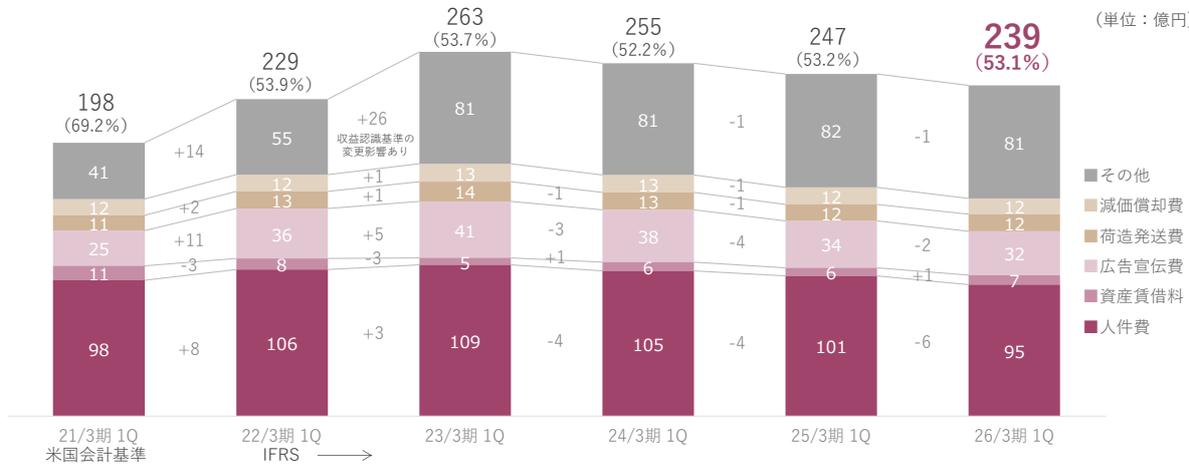
8ページです。売上収益と事業利益の前年同期差をセグメントごとに記載しています。

売上については前期までその他に含まれていた七彩・ルシアンとの連結除外、事業利益についてはワコール事業（国内）の増益やワコール事業（海外）に含まれるブラビッシモ社の買収影響などが前年同期差の主因となっています。

26/3期 1Q 販管費の推移

米国・中国の人員配置の適正化に加え、国内のフレックス定年制度の廃止により人件費が減少

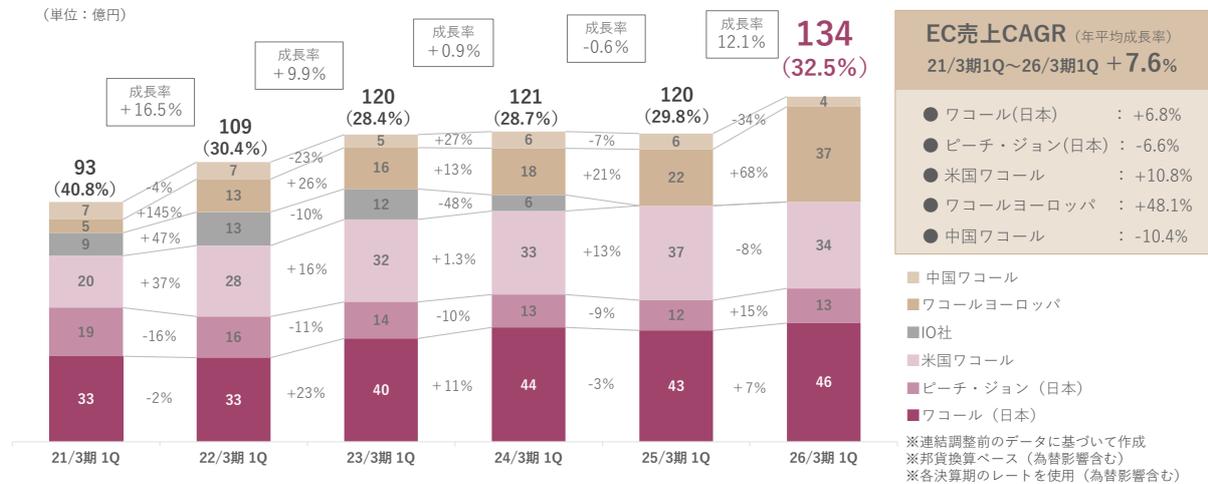
※ワコールグループ連結数値に基づいて作成
(単位：億円)



9ページです。ワコールグループの販管費推移です。当第1四半期の販管費は239億円と、前年同期から8億円減少しました。人件費の減少が主な要因で、内訳は米国・中国の人員減やフレックス定年制度の廃止による人件費の戻し入れなどです。

26/3期 1Q EC事業の進捗

英国における買収が寄与し、5社合計のEC比率は30%を超え、EC売上も拡大傾向
 (EC比率：ワコール 22%、ピーチ・ジョン 52%、米国ワコール 49%、ワコールヨーロッパ 42%、中国ワコール 27%)



10ページです。こちらのスライドでは、主要5社のEC売上の推移をまとめています。

自社ECと直営店を主力チャネルとして展開する英国のブラビッシモ社を買収したことにより、ワコールヨーロッパのEC事業が拡大し、主要5社の売上に占めるEC比率は30%を超えました。各社とも、EC事業は成長戦略における重要な位置づけとなるため、更なる成長の実現に向けて取り組みを進めてまいります。

2026年3月期 第1四半期 決算概況（セグメント別）

次に、セグメント別の概況をご説明します。

【セグメント別】ワコール事業(国内)の概況

売上収益 222 億円	前年同期差 (前年同期比) -0.1億円 (-0.3%)	<p>「Wing」「GOCOCi」は伸長も「AMPHI」が苦戦し前年同期並み想定以上の客数減により計画を下回る</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ チャンネル別 実店舗：量販店・直営店・百貨店の全チャンネルで店舗数減に加え客数減 EC：全体的に堅調。特に主要プラットフォームを中心に他社ECが伸長 ➤ ブランド別 Wing：スター品番「シンクロプラトップ」が引き続き好調 GOCOCi：前期に商品ブランド化。露出増が奏功し全チャンネルで大幅伸長 CW-X：プロモーション強化が奏功し伸長 AMPHI：閉店影響で苦戦
事業利益 4 億円	前年同期差 (前年同期比) +8億円 (-)	<p>フレックス定年制度の廃止に伴う人件費戻し入れ、広告宣伝費の削減で前年同期を上回るも、売上の計画未達影響を補えず計画は下回る</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コスト構造改革を進めるも原材料高や為替影響(※)で(株)ワコール単体の粗利率は前年同期並みだが、計画は下回る ● フレックス定年制度の廃止により退職給付に係る負債を取崩し人件費の戻し入れが発生 <p>(※) 26/3期1Qは前年同期比で円高傾向も、1Q時点の原価には未反映</p>

子会社名	売上収益 (単位: 億円)		事業利益 (単位: 億円)		売上総利益率 (粗利率)		販管费率	
	26/3期1Q	前年同期差	26/3期1Q	前年同期差	26/3期1Q	前年同期差	26/3期1Q	前年同期差
(株)ワコール ※日本基準	210	+1	2	+2	56.7%	+0.1pt	55.7%	-0.7pt

12ページです。ワコール事業国内についてです。

売上収益は、222億円でした。ウイングやゴコチ、プロモーションを強化しているコンディショニングウェアのシーダブリュー・エックスは伸長したものの、直営店を中心に展開するアンフィについては閉店影響を受け苦戦し、前年同期並みの着地となりました。また、想定以上の客数減の影響により、計画に対しても下回る着地となりました。

事業利益については4億円でした。フレックス定年制度の廃止に伴い人件費の戻し入れが発生したこと、広告宣伝費を前年同期より削減したこと等に起因し、前年同期を8億円上回りました。一方、売上の計画未達影響により、計画に対しては下回る着地となりました。

【セグメント別】ワコール事業(国内)のトピックス

2Q以降の業績拡大に向けて重点施策を強化

需要連動生産強化

「WACOAL」「Wing」売上※1における需要連動生産比率を1Q約10%から今期末までに**30~40%**に拡大予定

需要連動生産 × スター品番

- ▶ スター品番及びその候補を需要連動生産対象とし、在庫充足率を高める
- ▶ 上期中には量販店全店で自動発注稼働により、販売機会ロスを防ぎ、売上拡大を目指す

需要連動生産対象品番(Wing)の在庫充足率

25/3期 1Q	26/3期 1Q
約 60%	約 90%

※1 ワコール・ウイングのインナーウェア売上 ※2 サービス利用時の申込商品以外の商品購入金額

取り置き・取り寄せ店舗拡大

ウェブストアから気になる商品を申込、店舗で商品確認後、購入するサービス

店舗拡大と販売員によるコンサルティングも寄与し、大幅に売上増加。8月にも来店ポイント付与などキャンペーン実施

(1Q実績)

- ▶ サービス利用の**約8割**が来店
- ▶ 来店時の「ついで買い」は**30%強**※2
- ▶ 売上は計画比**128%**と好調に推移

取り置き・取り寄せ取扱店舗数推移



CW-Xの販売強化

25年3月の大谷選手を起用したプロモーション時から、取扱店舗数を**1.7倍**に拡大予定

CW-X 取扱店舗数

2025年3月	2025年9月
約 750 店舗	約 1,250 店舗 (予定)

大谷翔平選手愛用モデル
商品ラインアップ拡充×店舗拡大

「ボディバランスアップタイツ」に、メンズのカラーやウィメンズ用を追加し、商品拡充。店舗拡大との相乗効果も狙う



13ページです。ワコール事業国内のトピックスについてご説明します。この第1四半期では、国内事業において3つの重点施策に取り組みました。

まず1つ目は、需要連動生産の拡大です。今期末までに、需要連動生産の対象範囲をワコール・ウイングのインナーウェア売上の30%から40%程度まで拡大する予定です。前期までの取り組みにより、当第1四半期時点で、需要連動生産の対象品番の充足率は90%まで向上しています。今期についても、量販店全店に対して需要連動生産対象の品番を中心に自動発注システムを稼働させ、一層の改善を図るとともに、スター品番の育成によって売上と在庫効率の最大化を目指します。

2つ目は、取り置き・取り寄せサービスの店舗拡大です。対応店舗を1年前から約2倍へ拡大しました。利用者の8割が来店、申込商品以外の「ついで買い」も3割を超えています。売上についても計画比128%と好調です。

そして3つ目は、シーダブリュー・エックスの販売強化です。大谷翔平選手の起用を契機に、取扱店舗を3月から9月までの半年間で1.7倍に拡大予定です。大谷選手愛用モデルのラインアップ拡充と店舗展開の相乗効果によってさらなる成長を目指しています。

【セグメント別】ワコール事業(海外)の概況

売上収益 190億円	前年同期差 (前年同期比) +3億円 (+1.4%)	欧州は前期の買収で伸長も、米国は関税措置によるインフレ懸念で苦戦 ●米国：消費マインドの低下に加え、得意先の仕入抑制が厳しさを増し、実店舗が苦戦 ●欧州：前年9月実施のBravissimo社の買収で1Qは増収も、6月下旬の物流倉庫火災(※)、英国得意先のサイバーインシデント影響に伴う出荷停止等、想定外の売上減あり (※) 2025年6月27日当社HP開示済。現在出荷を停止している自社ECは9月の再開を目指していますが、店舗販売を含めた業績への影響については、現在精査中です。 ●中国：ブランド価値訴求の方針で施策を進め、一部効果が出るも市況悪化を補えず減収						
事業利益 19億円	前年同期差 (前年同期比) -1億円 (-5.2%)	米国・中国は減収影響で減益、欧州は人件費・広告宣伝費が増加傾向 ●米国：減収影響、得意先への協賛金支払の影響(※)により粗利率悪化。一方、売上状況に応じたコストコントロールで、減収も販管費率は0.4pt改善(※) 売上の減として計上 ●欧州：買収による増益に対し、英国の社会保険料増加・D2C強化に向けた広告宣伝費の投下が影響し、事業利益ベースでは微増に留まる ●中国：減収影響を受けるも、ブランド価値訴求を目的とした正価販売の推進により粗利率は1.6pt改善						
子会社名	売上収益 (単位：億円)		事業利益 (単位：億円)		売上総利益率 (粗利率)		販管費率	
	26/3期1Q	前年同期差	26/3期1Q	前年同期差	26/3期1Q	前年同期差	26/3期1Q	前年同期差
ワコールインターナショナル(米国)	66	-13	8	-3	50.7%	-1.9pt	39.6%	-0.4pt
ワコールヨーロッパ(Bravissimo社含む)	88	+26	7	+0.4	63.3%	+5.8pt	55.0%	+8.7pt
中国ワコール	18	-8	-2	-1	69.3%	+1.6pt	78.9%	+7.8pt

14ページです。ワコール事業海外についてです。

売上収益は、190億円でした。欧州は前期に買収したブラビッシモ社の影響により伸長しましたが、米国については関税措置に伴うインフレ懸念から、消費マインドが低下し販売が低迷しました。また、中国についても市況悪化による苦戦が続いた結果、海外セグメントの増収幅は3億円に留まりました。なお、ブラビッシモ社については6月下旬に物流倉庫で小規模な火災が発生し、火災発生以降現在まで、自社ECにおける出荷を停止しています。自社ECについては9月の再開を目指しておりますが、今回の火災による当期業績への影響額については現在精査中です。

事業利益は19億円と、前年同期を1億円下回りました。米国・中国は減収影響により事業利益ベースでも前年同期を下回ったほか、欧州についても社会保険料率の変更による人件費の高騰やD2C強化に向けた広告宣伝費の投下が影響し、利益ベースでは前年同期並みの着地となりました。なお、中国については、売上・事業利益ともに前年同期を下回るものの、正価での販売を推進した結果、粗利率が1.6ポイント改善しました。

【セグメント別】ワコール事業(海外)のトピックス

ワコールインド：インドマーケットの可能性

- ✓ インド事業を米欧中に次ぐ海外収益の柱として育成・強化中
- ✓ インド人口は年々増加しており、TAM顧客数^{※1}も大幅に拡大見込みでマーケットは広大

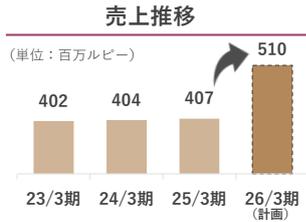
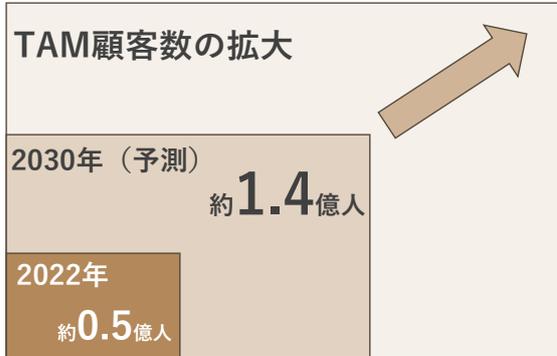
ワコールインド概要

- 設立：2015年4月20日
※1号店開始は2015年12月
- 本社：インド ムンバイ
- 従業員数：約180人
- 出資比率：ワコールグループ 51%
Periwinkle Fashion社^{※2}49%



中価格帯商品のワコールベージュ

ターゲットとする中間所得者層の女性人口の拡大予測^{※3}



売上拡大施策

- 現地委託生産の拡大
- 中価格帯の商品強化
- マーケティング施策による認知度向上
- 店舗・エリアの拡大
- ECの強化

※1 Total Addressable Market ※2 現地合弁会社 ※3 「野村総合研究所」作成データをもとに、当社にて算出して推計

15ページです。ワコール事業海外についてのトピックスはワコールインドをご紹介したいと思います。
 インド事業は、米・欧・中に次ぐ収益の柱として育成を進めています。人口増加による市場拡大を背景に、現地における委託生産の強化、中価格帯商品の拡充、認知度向上施策、店舗・エリア展開、EC強化など、多面的な取り組みを推進しています。売上も拡大傾向で、今期の売上収益は前期比25%増を計画しております。

【セグメント別】ピーチ・ジョン事業の概況とトピックス

売上収益
28億円

前年同期差（前年同期比）
+2億円（+8.5%）

各種施策が奏功し全チャネルで伸長、特に他社ECが好調

- 直営店はVMD^{※1}の強化、自社ECは新規顧客の増加などの施策が奏功
- 他社ECは大手プラットフォームが全体的に好調

事業利益
0.1億円

前年同期差（前年同期比）
-0億円（-15.4%）

国内は増収効果により黒字に転じる[※]

[※]セグメント損益を正確に算出するため、当期1Qより連結調整を個別セグメントへ反映。セグメント事業利益にマイナス影響があり前年同期並みの着地となったが、同一条件下での事業利益は改善傾向。

子会社名	売上収益 (単位：億円)		事業利益 (単位：億円)		売上総利益率 (粗利率)		販管费率	
	26/3期 1Q	前年 同期差	26/3期 1Q	前年 同期差	26/3期 1Q	前年 同期差	26/3期 1Q	前年 同期差
ピーチ・ジョン (国内のみ)	25	+2	0.5	+0.6	57.7%	-1.3pt	55.7%	-3.4pt

^{※1} Visual Merchandising

新規顧客獲得の継続強化

前期より既存顧客から新規顧客獲得へと施策を大きく転換。当期1Qもプロモーション施策に重点投資。人気アイドルグループ「timelesz」を着用モデルに起用するなど各種の施策が奏功

主な施策：

- 機能性に加えてデザイン性を重視の商品開発
- 旬のタレント活用の販促やコラボ企画実施
- 販売価格の維持（若年層向けのため）



機能性とデザイン性を両立した「ナイスバディブラ」の売れ行きが好調



松島聡さん(timelesz)着用アイテム
くまTシャツパジャマ

16ページです。ピーチ・ジョン事業についてです。

売上収益は、28億円でした。前期から新規顧客獲得の方針へ舵を切り、各種の施策を進めた結果全チャネルが伸長し、前年同期を2億円上回りました。

事業利益は1,100万円でした。国内事業は増収効果により黒字に転じ、前年同期から大きく利益改善しましたが、今期より個別セグメントへ連結調整を反映した結果、事業利益に対してのマイナス影響があり、前年同期並みの着地となりました。なお、同一条件下においては、事業利益が改善しています。

続いてトピックスについてご説明します。

先ほど申し上げましたように、前期より既存顧客から新規顧客獲得に軸足を移し、今期も注力しております。旬なタレントの起用や、デザイン性を高めた商品開発、コラボ企画などが奏功し、若年層を中心に支持が拡大しております。

財務・株主還元

次に、財務・株主還元についてご説明します。

財務方針

1. ビジネスモデル改革と成長戦略を通じた収益力の改善を最優先課題として取り組むと同時に、棚卸資産（在庫）の圧縮や、政策保有株式の縮減、保有不動産の整理を進めることで、資本効率の改善を実現しROE向上を実現
2. 将来成長への投資を優先すると同時に、資本効率の改善に向けて積極的な株主還元を実施



18ページをご覧ください。中計リバイズで掲げている財務戦略の基本方針です。こちらは、2023年11月に発表しました内容から変更はありません。

財務戦略の進捗

区分	重点戦略	重点施策	25/3期 累計実績	リバイズ 累計実績	リバイズ 累計見込	リバイズ 目標数値	進捗
財務戦略	アセットライト化 ・デットの活用	棚卸資産の圧縮	1.9回転	—	2.1回転	2.5回転	構造改革の一環で在庫処分を実施 ※減取影響により回転率を下方修正
		保有不動産 の整理 (デットの活用含む)	約190億円	約420億円	約420億円~	500億円	実現性・妥当性を検証し、企業価値 向上に寄与しない不動産を整理 ※新京都ビル売却を含む
		政策保有 株式の縮減	約250億円	約250億円	約380億円	300億円	売却合意できた株式から順次売却し、 資本効率を改善 ※純資産比率：25/3期 18%、26/3期見込 12%
	資本政策	配当還元	約110億円	約110億円	約160億円	150億円	連結業績・資産の売却状況を 考慮しつつ、安定的な配当を継続
		自己株式の取得	約270億円	約310億円	約550億円	550億円	自己株式の取得を行い、 資本効率の改善を積極的に推進
			25/3期 実績	26/3期 実績	26/3期 見込	リバイズ 目標数値	進捗
	ROIC		3%	—	7%	6%~7%	資本効率向上を目指し、 ROICを指標とした管理体制を構築
	ROE		4%	—	8%	7%	資本効率のさらなる最適化を進め、 目標の7%を超え8%で着地見込み

19ページをご覧ください。第1四半期における財務戦略の進捗を記載しております。

上段記載のアセットライト化については、当第1四半期には、新京都ビルをはじめとした各種の不動産の売却を実施する等、計画に沿って実施しております。政策保有株式については、この第1四半期では大きくは進捗しておりませんが、当期末までにかけて中計リバイズ計画数値を達成する見込みです。そのほか資本政策については、当第1四半期に約40億円の自己株式を取得しました。下段のROIC、ROEについても、目標数値を達成する見込みです。

私からの説明は以上です。ご清聴ありがとうございました。

Appendix

26/3期 1Q 決算概況

(単位：百万円)

為替レート	1 \$	1 £	1 円
25/3期 1Q実績	155.88	196.85	21.48
26/3期 1Q実績	144.59	193.01	19.99

	25/3期 1Q実績	売上比	26/3期 1Q実績	売上比	対25/3期 1Q実績	
					増減額	増減率
売上収益	46,462	—	44,956	—	-1,506	-3.2%
売上原価	20,187	43.4	18,723	41.6	-1,464	-7.3%
売上総利益	26,275	56.6	26,233	58.4	-42	+0.2%
販売費及び一般管理費	24,714	53.2	23,875	53.1	-839	-3.4%
事業利益	1,561	3.4	2,358	5.2	797	+51.1%
その他の収益	1,733	3.7	17,452	38.8	15,719	+907.0%
その他の費用	88	0.2	54	0.1	-34	-38.6%
営業利益	3,206	6.9	19,756	43.9	16,550	+516.2%
金融収益	800	1.7	680	1.5	-120	-15.0%
金融費用	94	0.2	253	0.6	159	+169.1%
持分法による投資利益（損失）	356	0.8	-97	-0.2	-453	—
税引前利益	4,268	9.2	20,086	44.7	15,818	+370.6%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	3,038	6.5	13,663	30.4	10,625	+349.7%

26/3期 1Q 決算概況（セグメント別）

(単位：百万円)

為替レート	1 \$	1 £	1 元
25/3期 1Q実績	155.88	196.85	21.48
26/3期 1Q実績	144.59	193.01	19.99

	25/3期 1Q実績	構成比	26/3期 1Q実績	構成比	対25/3期 1Q実績	
					増減額	増減率
ワコール事業（国内）	22,237	47.9	22,161	49.3	-76	-0.3%
ワコール事業（海外）	18,742	40.3	18,996	42.2	254	+1.4%
ビーチ・ジョン事業	2,565	5.5	2,783	6.2	218	+8.5%
その他	2,918	6.3	1,016	2.3	-1,902	-65.2%
売上収益	46,462	100	44,956	100	-1,506	-3.2%
	25/3期 1Q実績	売上比	26/3期 1Q実績	売上比	増減額	増減率
ワコール事業（国内）	-434	-2.0	381	1.7	815	—
ワコール事業（海外）	2,018	10.8	1,914	10.1	-104	-5.2%
ビーチ・ジョン事業	13	0.5	11	0.4	-2	-15.4%
その他	-36	-1.2	52	5.1	88	—
事業利益（損失）	1,561	3.4	2,358	5.2	797	+51.1%
	25/3期 1Q実績	売上比	26/3期 1Q実績	売上比	増減額	増減率
ワコール事業（国内）	1,089	4.9	17,353	78.3	16,264	—
ワコール事業（海外）	2,101	11.2	2,024	10.7	-77	-3.7%
ビーチ・ジョン事業	-7	-0.3	33	1.2	40	—
その他	23	0.8	346	34.1	323	—
営業利益（損失）	3,206	6.9	19,756	43.9	16,550	+516.2%

22

26/3期 1Q 決算概況（主要子会社）

(単位：百万円)

為替レート	1 \$	1 £	1 元
25/3期 1Q実績	155.88	196.85	21.48
26/3期 1Q実績	144.59	193.01	19.99

	売上収益				事業利益（損失）				営業利益（損失）			
	25/3期 1Q実績	26/3期 1Q実績	対25/3期 1Q実績		25/3期 1Q実績	26/3期 1Q実績	対25/3期 1Q実績		25/3期 1Q実績	26/3期 1Q実績	対25/3期 1Q実績	
			増減額	増減率			増減額	増減率			増減額	増減率
ワコール	20,959	21,031	72	+0.3%	61	214	153	+250.8%	1,399	15,804	14,405	—
ワコール インター ナショナル	7,939	6,626	-1,313	-16.5%	1,029	753	-276	-26.8%	1,030	751	-279	-27.1%
ワコール ヨーロッパ	6,164	8,763	2,599	+42.2%	696	737	41	+5.9%	642	768	126	+19.6%
中国ワコール	2,582	1,816	-766	-29.7%	-87	-173	-86	—	-83	-159	-76	—
ビーチ・ ジョン	2,565	2,783	218	+8.5%	13	11	-2	-15.4%	-7	33	40	—
A i	621	639	18	+2.9%	18	17	-1	-5.6%	17	17	0	+0.0%

【海外主要子会社】（現地通貨ベース）（単位：米国：千US\$ ヨーロッパ：千£ 中国：千元）

ワコール インター ナショナル	50,933	45,827	-5,106	-10.0%	6,594	5,211	-1,383	-21.0%	6,604	5,201	-1,403	-21.2%
ワコール ヨーロッパ	31,313	45,400	14,087	+45.0%	3,529	3,807	278	+7.9%	3,256	3,970	714	+21.9%
中国ワコール	120,207	90,855	-29,352	-24.4%	-4,116	-8,655	-4,539	—	-3,864	-7,966	-4,102	—

※原則、各国現地会計基準にて表示

23

26/3期 通期計画

(単位：百万円)

為替レート	1\$	1£	1元
26/3期 計画	150.00	190.00	20.50

	25/3期 実績		26/3期 計画		対25/3期 実績		26/3期 上期計画		26/3期 下期計画	
	売上比	売上比	売上比	売上比	増減額	増減率	売上比	売上比	売上比	売上比
売上収益	173,896	—	187,500	—	13,604	+7.8%	96,000	—	91,500	—
売上原価	79,652	44.0	76,730	40.9	278	+0.4%	38,520	40.1	38,210	41.8
売上総利益	97,444	56.0	110,770	59.1	13,326	+13.7%	57,480	59.9	53,290	58.2
販売費及び一般管理費	100,841	58.0	106,070	56.6	5,229	+5.2%	52,180	54.4	53,890	58.9
事業利益	-3,397	—	4,700	2.5	8,097	—	5,300	5.5	-600	—
その他の収益	11,211	6.4	18,400	9.8	7,189	+64.1%	17,470	18.2	930	1.0
その他の費用	4,486	2.6	300	0.2	-4,186	-93.3%	170	0.2	130	0.1
営業利益	3,328	1.9	22,800	12.2	19,472	+585.1%	22,600	23.5	200	0.2
金融収益	2,170	1.2	1,530	0.8	-640	-29.5%	690	0.7	840	0.9
金融費用	618	0.4	800	0.4	182	+29.4%	470	0.5	330	0.4
持分法による投資利益(損失)	813	0.5	-930	—	-1,743	—	-1,220	—	290	0.3
税引前利益	5,693	3.3	22,600	12.1	16,907	+297.0%	21,600	22.5	1,000	1.1
親会社の所有者に帰属する当期利益	6,989	4.0	14,870	7.9	7,881	+112.8%	14,470	15.1	400	0.4

24

26/3期 通期計画 (セグメント別)

(単位：百万円)

為替レート	1\$	1£	1元
26/3期 計画	150.00	190.00	20.50

	25/3期 実績		26/3期 計画		対25/3期 実績		26/3期 上期計画		26/3期 下期計画	
	構成比	構成比	構成比	構成比	増減額	増減率	構成比	構成比	構成比	構成比
ワコール事業(国内)	87,828	50.5	96,370	51.4	8,542	+9.7%	48,000	50.0	48,370	52.9
ワコール事業(海外)	67,237	38.7	75,100	40.1	7,863	+11.7%	39,400	41.0	35,700	39.0
ピーチ・ジョン事業	10,469	6.0	11,700	6.2	1,231	+11.8%	5,750	6.0	5,950	6.5
その他	8,362	4.8	4,330	2.3	-4,032	-48.2%	2,850	3.0	1,480	1.6
売上収益	173,896	100	187,500	100	13,604	+7.8%	96,000	100	91,500	100
	25/3期 実績	売上比	26/3期 計画	売上比	増減額	増減率	26/3期 上期計画	売上比	26/3期 下期計画	売上比
ワコール事業(国内)	-4,777	—	2,600	2.7	7,377	—	2,700	5.6	-100	—
ワコール事業(海外)	1,520	2.3	1,650	2.2	130	+8.6%	2,200	5.6	-550	—
ピーチ・ジョン事業	-194	—	280	2.4	474	—	100	1.7	180	3.0
その他	54	0.6	170	3.9	116	+214.8%	300	10.5	-130	—
事業利益(損失)	-3,397	—	4,700	2.5	8,097	—	5,300	5.5	-600	—
	25/3期 実績	売上比	26/3期 計画	売上比	増減額	増減率	26/3期 上期計画	売上比	26/3期 下期計画	売上比
ワコール事業(国内)	2,970	3.4	20,300	21.1	17,330	+583.5%	19,650	40.9	650	1.3
ワコール事業(海外)	459	0.7	1,730	2.3	1,271	+276.9%	2,270	5.8	-540	—
ピーチ・ジョン事業	-266	—	270	2.3	536	—	90	1.6	180	3.0
その他	165	2.0	500	11.5	335	+203.0%	590	20.7	-90	—
営業利益(損失)	3,328	1.9	22,800	12.2	19,472	+585.1%	22,600	23.5	200	0.2

25

26/3期 通期計画（主要子会社）

(単位：百万円)

為替レート	1 \$	1 £	1 円
26/3期 計画	150.00	190.00	20.50

	売上収益				事業利益（損失）				営業利益（損失）			
	25/3期 実績	26/3期 計画	対25/3期 実績		25/3期 実績	26/3期 計画	対25/3期 実績		25/3期 実績	26/3期 計画	対25/3期 実績	
			増減額	増減率			増減額	増減率			増減額	増減率
ワコール	82,369	90,351	7,982	+9.7%	-2,542	3,700	6,242	-	6,180	20,177	13,997	+226.5%
ワコール インター ナショナル	24,917	24,137	-780	-3.1%	675	0	-675	-	681	0	-681	-
ワコール ヨーロッパ	25,201	32,699	7,498	+29.8%	1,164	1,687	523	+44.9%	897	1,687	790	+88.1%
中国ワコール	9,085	9,678	593	+6.5%	-736	0	736	-	-1,844	0	1,844	-
ピーチ・ ジョン	10,469	11,700	1,231	+11.8%	-194	280	474	-	-266	270	536	-
A i	2,862	2,955	93	+3.2%	122	130	8	+6.6%	121	128	7	+5.8%

【海外主要子会社】（現地通貨ベース）（単位：米：千US\$ ヨーロッパ：千£ 中国：千円）

ワコール インター ナショナル	163,305	160,910	-2,395	-1.5%	4,435	0	-5,978	-	4,466	0	-4,466	-
ワコール ヨーロッパ	129,493	172,101	42,608	+32.9%	5,978	8,871	2,893	+48.4%	4,605	8,871	4,266	+92.6%
中国ワコール	430,546	483,890	53,344	+12.4%	-34,834	0	34,834	-	-87,367	0	87,367	-

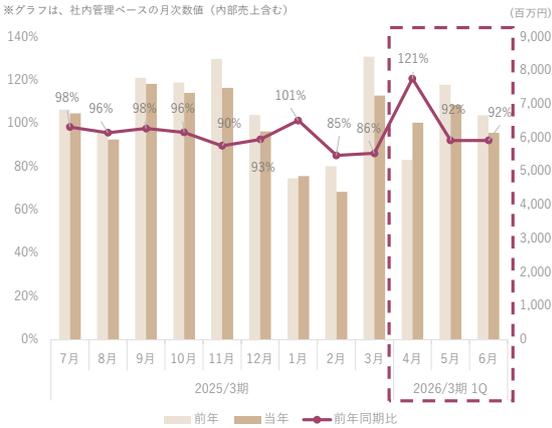
※原則、各国現地会計基準にて表示

国内主要子会社の売上月次推移

（株）ワコール

26/3期1Q累計：前年同期比100% ▶

※グラフは、社内管理ベースの月次数値（内部売上含む）

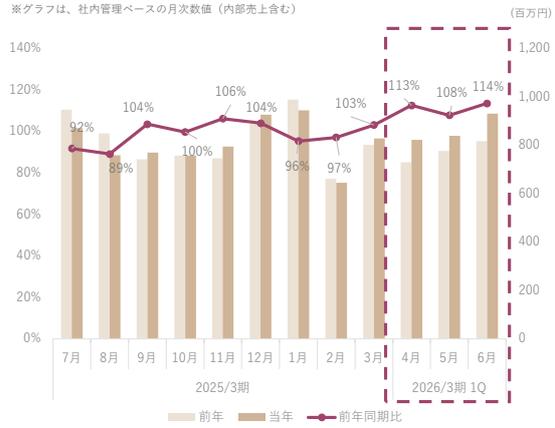


2025年4月 前年 ▲ ○ EC好調 ○ 実店舗の納品進行
 2025年5月 前年 ▼ × 閉店影響（量販店）○ 既存店好調（量販店）
 2025年6月 前年 ▼ × 閉店影響（量販店）× 客数減（百貨店）

（株）ピーチ・ジョン

26/3期1Q累計：前年同期比112% ▲

※グラフは、社内管理ベースの月次数値（内部売上含む）



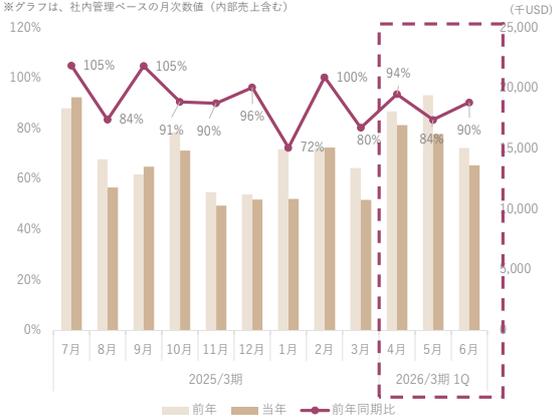
2025年4月 前年 ▲ ○ 実店舗、ECとも好調
 2025年5月 前年 ▲ ○ 実店舗好調 × EC苦戦（販促月ずれ影響）
 2025年6月 前年 ▲ ○ 実店舗、ECとも好調

海外主要子会社の売上月次推移①

米国ワコール

26/3期1Q累計：前年同期比89% ▼

※グラフは、社内管理ベースの月次数値（内部売上含む）

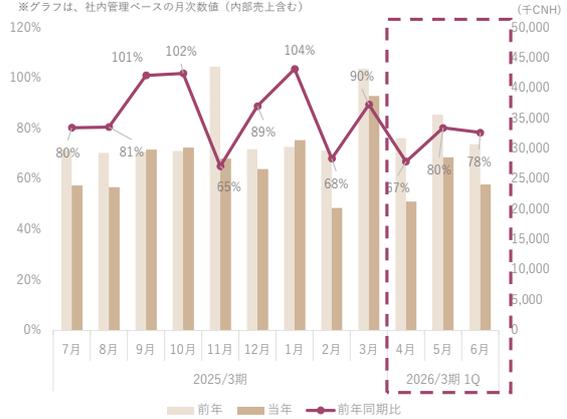


2025年4月 前年 ▼ × 閉店影響（百貨店）○ EC好調
 2025年5月 前年 ▼ × 閉店影響（百貨店）× EC鈍化
 2025年6月 前年 ▼ × 閉店影響（百貨店）○ 自社EC客数増加

中国ワコール

26/3期1Q累計：前年同期比75% ▼

※グラフは、社内管理ベースの月次数値（内部売上含む）



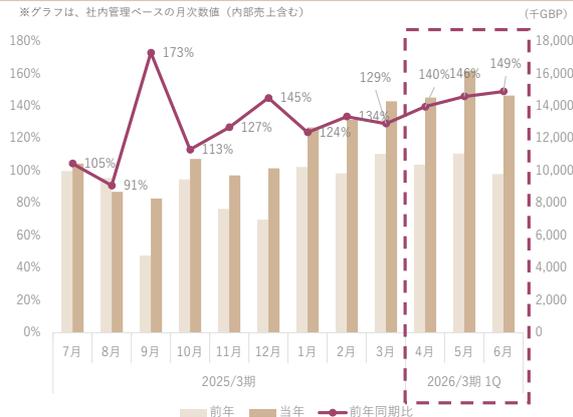
2025年4月 前年 ▼ × 実店舗、ECとも苦戦
 2025年5月 前年 ▼ × 実店舗、ECとも苦戦
 2025年6月 前年 ▼ × 実店舗、ECとも苦戦 × 618商戦も苦戦

海外主要子会社の売上月次推移②

ワコールヨーロッパ※Bravissimo社含む

26/3期1Q累計：前年同期比145% ▲

※グラフは、社内管理ベースの月次数値（内部売上含む）

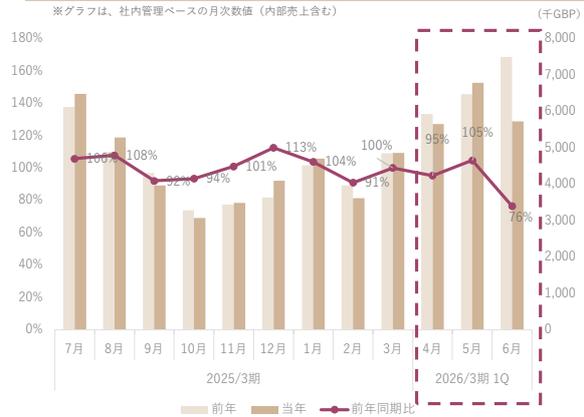


2025年4月 前年 ▲ ○ 買収による増収 ○ 大陸好調
 2025年5月 前年 ▲ ○ 買収による増収 × 水着不振
 2025年6月 前年 ▲ ○ 買収による増収 ○ ドイツ好調

Bravissimo社

26/3期1Q累計：前年同期比91% ▼

※グラフは、社内管理ベースの月次数値（内部売上含む）



2025年4月 前年 ▼ × 自社EC低調
 2025年5月 前年 ▲ ○ 自社EC好調 × 直営店横ばい
 2025年6月 前年 ▼ × 物流倉庫火災影響

連結財政状態計算書 (BS)

(単位：億円)

	2025年3月末	構成比	2025年6月末	構成比	増減
現金及び現金同等物	234		① 367		133
営業債権及びその他の債権	168		173		5
棚卸資産	502		496		-6
その他	96		101		5
流動資産合計	1,000		1,137	36.7%	137
有形固定資産・無形資産・使用権資産	679		② 589		-90
のれん	152		156		4
その他の金融資産	420		③ 454		34
その他	477		488		11
非流動資産 計	1,728		1,687	63.3%	-41
資産合計	2,728		2,824		96
	2025年3月末	構成比	2025年6月末	構成比	増減
営業債務及びその他の債務 (買掛債務)	158		143		-15
借入金	145		130		-15
リース負債	126		118		-8
繰延税金負債	142		④ 165		23
その他	205		218		13
負債 計	776		774	27.7%	-2
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,921		⑤ 2,020		99
非支配持分	31		30		-1
資本 計	1,952		2,050	72.3%	98
負債及び資本 合計	2,728		2,824		96

※2025年3月期第1四半期に企業結合の会計処理を確定したことに伴い、2025年3月期の数値を遡及修正

① 新京都ビル等の
固定資産売却による現預金増加

② 新京都ビル等の売却による
有形固定資産の減少

③ 投資有価証券の時価評価上昇

④ 有価証券評価差額の増加による

⑤ 自己株式消却

30

(参考) 成長投資・減価償却費・政策保有株式売却状況

■リバイズ期間の成長投資

成長投資の内訳	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 1Q実績
ワコール / IT関連※1	12億円	10億円	2億円
ワコール / 直営店・建物関連※1	3億円	8億円	9億円
国内子会社関連※1	8億円	10億円	1億円
海外・子会社関連※1	11億円	11億円	3億円
Bravissimo社の株式取得に係る投資額	—	約90億円	—
合計	約34億円	約129億円	約15億円

※1 設備投資額

■リバイズ期間の減価償却費

	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 1Q実績
減価償却費※2	約62億円	約61億円	約15億円

※2 減価償却費から、リース負債の返済による支出額をネット

■リバイズ期間の政策保有株式の売却状況

	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 1Q実績
完全売却銘柄数	10	5	1

31

ディスクレーム

この資料に掲載されている情報のうち、将来の業績に関する見通しについては、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、その実現・達成を保証又は約束するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。

これらの情報の掲載にあたっては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りに関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

株式会社ワコールホールディングス

IRサイト：

<https://www.wacoalholdings.jp/ir/>

IRお問合せ先：

ir-wmg@wacoal.co.jp